

令和6年3月号 No.154  
(2024年)

みんなで支えあう 心ふれあう やすらぎのまち



# 社協かしわら

TEL 072-972-6786

FAX 072-970-3200

ホームページ

<https://kashiwara-shakyo.jp/>

メールアドレス

[soumu@kashiwara-shakyo.jp](mailto:soumu@kashiwara-shakyo.jp)

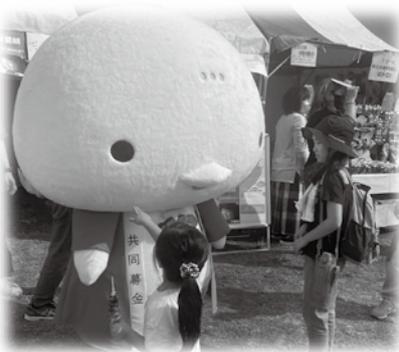


「ほのほのちゃん」

こちらどうぞ

編集発行 社会福祉法人 柏原市社会福祉協議会 〒582-0018 柏原市大県4-15-35 健康福祉センター内

## 柏原市社会福祉協議会イメージキャラクター 「ほのほのちゃん」誕生から10周年



(市民フェスティバルでの様子)

市民の皆さまからの公募で名前を付けて頂きました「ほのほのちゃん」の誕生10周年を記念して、着ぐるみを制作しました。

令和5年10月2日の街頭募金（赤い羽根共同募金）にてデビューし、その後も、市民フェスティバルやボランティア展にてお披露目しました。

今後も、色んなイベントに参加し、皆さまに親しみを持って頂けるよう活動していきます。

**柏原市社会福祉協議会は  
法人格取得50周年を迎えます**

近年は、新型コロナウイルスの影響による行動制限や、アフターコロナでの地域福祉活動を模索していくという、大きな転換期を迎えております。そのようなかでも柏原市社協では、「みんなで支え合う 心ふれあう やすらぎのまち」を目指し、今後も積極的な地域福祉活動を展開していきたいと考えております。

これからも今まで以上に市民の皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、「社会福祉法人格取得50周年記念柏原市社会福祉大会」の詳細につきましては、次号の社協かしわらやホームページ等で追ってお知らせしていきます。

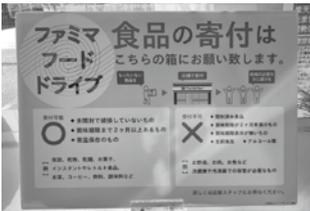
# いま、伝えたい！地域の最前線

## ファミマフードドライブが 始まりました！

㈱ファミリーマートと柏原市社会福祉協議会は、合意書をかわし「食品ロスの削減」と「食支援」を目的とした地域で支え合う取り組み「ファミマフードドライブ」を2024年1月からファミリーマート法善寺駅前店で開始しました。

「ファミマフードドライブ」とは、家庭で余っている食品をファミリーマート店舗で回収し、柏原市社会福祉協議会を通じて子ども食堂やフードパントリー等の支援が必要な方に提供する取り組みです。

ご家庭で余っている食品が活用され食品ロスの削減につながる



り、また、ファミリーマートを回収拠点とすることで気軽に社会貢献活動に参加していただくことができます。

ぜひご協力をお願いいたします。

## どんな！こんな！ ボランティア展

令和5年11月19日に柏原市文化センターにて、「どんな！こんな！ボランティア展」を開催しました。

コロナ禍を経て、今回はリ



健康体操の新たなトレンド  
みんなで一緒に カピバラ健康体操



最後はみんなで一緒に「河内音頭」  
ほのほのちゃんも…！

モート中継も併用して、現地まで行けない人や遠く離れていてもボランティア展の様子を見られるようにしました。

会場では、健康のための講座、舞台発表や展示などが行われました。

開催には、柏原市をはじめ、学生ボランティアグループ「輪」の面々や柏原地区共同募金会など様々な方のご協力のもと300人を超える方にお越しいただき大成功で終えることができました。

参加者からは、「健康の事に

関心知識が深まり、専門的な事を聞いて勉強になりました。」  
「懐かしい歌なので楽しく見させてもらいました。」といったお声もいただきました。

今後も「柏原市ボランティア連絡会」では柏原市のボランティア活性化のため活動していきますので、今後ともご協力よろしくお願ひします！

## 令和6年能登半島地震 柏原市災害支援対策協議会

被災地の復興支援のため、柏原市、柏原市社会福祉協議会、柏原市商工会が連携し、令和6年能登半島地震 柏原市災害支援対策協議会を立ち上げ、現在、義援金活動を行っています。

義援金総額 1,679,857円(令和6年1月31日時点)  
引き続き、皆様のご支援をよろしくお願ひいたします。

【問合せ】072-070806

(総務課)

# CLOSE UP! 社協職員

川端 康之 (かわばた やすゆき)

当法人で活躍している職員や担当業務について紹介します。



高齢者福祉係所属  
川端 康之

社協に入った  
きっかけは？



他市の社会福祉法人で長年勤めてきましたが、社会福祉士として様々な分野に携わりたいという思いがあり、地域福祉推進の中枢を担っている社会福祉協議会で働くことを決めました。現在は入職3年目です。

今はどんな業務を  
しているの？



柏原市の地域包括支援センターである「高齢者いきいき元気センター」で介護・医療・福

祉に関する様々な相談を受けています。

主に権利擁護に関する支援（高齢者の虐待など）を中心に相談業務を行っています。また地域のケアマネジャーやサービス事業所の方々へ、虐待の防止、消費者被害の防止の啓発も兼ねて研修会の企画なども行っています。



日々の業務では、相談者の悩みをお聞きしながら、相談者自身が問題の解決に取り組めるよう助言を行い、関係機関と協力体制を築いていきます。その過程で相談者の生活課題が解決

し、「相談してよかった」「ありがとう」と言ってもらったときはこの仕事をしてよかったと感じます。

これから取り組み  
たいことは？



今後は担い手の不足から公的な支援（介護保険サービスなど）を受けられる方が限定的になり、ますます住民一人ひとりの介護予防の意識が大切になっていきます。元気で過ごすためには何歳になっても「役割」を持ち、何かに「参加」できる社会が必要だと感じています。今も素晴らしい取り組みが地域で行われていますが、それらをさらにパワーアップしていきたいという、個別の相談を活かしながら、何歳になっても「役割」と「参加」の機会が持てるような仕組みを地域の皆様、行政などみんなで考えていければと思います。

## <募金実績>

	(円)
街頭募金	164,827
事業所募金	681,495
戸別募金	3,153,980
学校募金	166,576
職域募金	241,866
記念バッジ募金	402,000
その他募金	295,820
合計	5,106,564

## 赤い羽根共同募金 令和5年度実績報告

赤い羽根共同募金は柏原市の住民の皆様、各種団体、学校、企業等のご支援より集まった寄付金が柏原市の福祉活動等に役立てられている「じぶんの町を良くするしくみ。」です。

募金活動への参加は大切な福祉のボランティアになります。今年も、街中で 職場で 学校で、様々な場所でおひとりご理解とあたたかいご支援をいただき誠にありがとうございました。



